

メーキャップ状況 3月10日(火) 和歌山R.C. 内畑 瑛造、堀井 孝一、村田 昌之

ニコニコ箱

ありがとうございました

- 浦 武宏さん(ガバナー補佐)お世話になります。
- 山東 勝彦さん 第3回のIDMを開催します。よろしくお願ひします。
- 村田 昌之さん うれしいことがありました。本日卓話させていただきます。
- 玉置 博康さん 県高野連理事会の日当です。
- 谷口 文利さん 本日卓話させていただきます。村田さんの卓話聞けなくて残念です。
- 岸裏 廣澄さん 貴重な時間を頂きありがとうございます。講演会よろしくお願ひします。
- 阪神タイガース応援団一同
- 前田 成蔵さん 村田プログラム委員長さんいつもご苦勞をお掛けしています。本日は直々のご出演ありがとうございます。
- 櫻畑 友洋さん 村田さん本日の卓話楽しみにしています。

〔皆出席表彰〕  
八幡 建二さん 20年皆出席



おめでとうございます!

【本日の累計 54,700円(計9名 10件)(お誕生日お祝い 596,000円 皆出席 160,000円 その他 2,127,016円) 累計額 2,883,016円】

**本日の例会** 3月26日(木)

- 卓話「青少年奉仕に夢をのせて」  
紀北青年の家所長 池田 憲昭さん
- お誕生日お祝い  
中野 久生さん 3月3日 古屋 光英さん 3月20日
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
あなたへの歌(キャサリン・ロリン)  
ときめき(キャサリン・ロリン)

**前回の例会** 3月12日(木)

- 卓話 当クラブ会員 村田 昌之さん
- ロータリーソング 村田 昌之さん  
「四つのテスト」
- ビジター紹介 野上 泰造 親睦委員長  
和歌山城南R.C. 浦 武宏さん(ガバナー補佐)  
岡本 浩さん
- 出席報告 田原 久一 出席副委員長  
会員数53名(内出席規定適用免除会員9名)

3月12日(本 日)	36名	81.8%
2月21日(メイキャップ後)	44名	97.8%

**次回の例会** 4月2日(木)P.M 6:40~於 大池荘

- お花見例会

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	3月26日(木)	創立21周年記念例会
	和歌山南R.C.	3月27日(金)	卓話「認知症の予防と対応」上林クリニック院長 上林 雄史郎さん
	和歌山中R.C.	3月27日(金)	フリートーク
	和歌山北R.C.	3月30日(月)	例会変更
	和歌山アゼリアR.C.	3月30日(月)	卓話「地方発信型ビジネスモデルの作り方」(株)とち亀物産 代表取締役 上野 真歳さん
	和歌山R.C.	3月31日(火)	卓話「食と地域おこし」フードコーディネーター 新古 祐子さん
	和歌山西R.C.	4月1日(水)	卓話「和歌山中R.C.のWCSIについて」ガバナー補佐(和歌山中R.C.) 南方 淳一さん
	和歌山東南R.C.	4月1日(水)	卓話「私の留学観」米山奨学生 姜学妍さん

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ  
「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ  
「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区  
和歌山東ロータリークラブ U R L. http://www.werc.jp  
E-mail. info@werc.jp

2009年 3月26日(木) 週報 / VOL.50 No.35(通巻2398)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。朝夕はまだ冷えてますが今日の午後のように太陽が出て気候のよい時は、ほんとうに春間近という感じがいたします。奈良のお水取りは明後日の14日までと聞いております。この調子で暖かいま春が来てほしいと願っております。

本日は城南ロータリー様から岡本様と浦ガバナー補佐様がお見えになっております。ようこそお出でいただきました。どうぞ最後までごゆっくりとお過ごしください。

定額給付金のことで、今日の新聞には3月中の給付が25%くらいと書かれておりました。和歌山市に問い合わせてみますと「今、一生懸命作業をしております、できるだけ今月中には皆様のお手元に給付金の申請書が届くようにがんばってます。4月1日から受付をさせていただいて、4月中には給付したい。」とおっしゃっておりました。

話は変わりますが、中之島ロータリー交差点が昨日の朝から通行方法が変わっております。今まではロータリーの回りを大きく回っておりましたが、車が混みだすと途中で止まる車が多く非常に危険だと思っておりましたが、昨日から右折の車は小回りをするように矢印が出るように変わっておりますので、夜は特にご注意ください。以上、会長報告です。ありがとうございました。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



- ・第3回 IDMのお知らせ
- ・4月2日(木)大池荘にて例会
- ・第28回 ライラセミナーのご案内 5月2日~4日の2泊3日 大阪府立青少年海洋センター
- ・識字率向上月間のご案内

- ・柳岡克子さん(先週卓話者)より届いたお礼状.....回覧
- ・交通遺児を励ます会 サンフレンド通信.....回覧
- ・国際ロータリー 年次大会の旅行案内.....回覧
- ・50周年式典の新聞記事.....回覧
- ・テレビ和歌山 50周年CDの紹介 ご要望の方は事務局まで

委員会報告

親睦委員会報告

野上 泰造 委員長



4月2日の例会は夜、大池荘に変更いたします。できましたら貴志川線復興のために貴志川線でお越しいただけますとありがたいのですが、大池荘のマイクロバスとユタカ交通のマイクロバスの2台をチャーターしております。6時に元のあぜくら前に一台、同じく6時に華月殿となっております。ここ5年間にお辞めになった方、或いは亡くなった方のご家族にも招待状を出します。

また、ライラキーマン会議にて、5月3日はIM3組が担当で子供たち100名が和歌山へ来ます。9時に歓迎会をし、和歌山城と紀三井寺と東照宮を見学します。その対応を各クラブ5名ほどお願いしたいということで、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。以上です。ありがとうございます。

## ご 案 内

岸裏 廣澄 会員



こんにちは。貴重な時間をいただきましてすみません。例年行っております和歌山県僧の会でございますが、私も気分だけは青年でございますのでご案内いたします。今年は4月15日(水)和歌山市民会館大ホールにて講師には向井亜紀さんを予定しております。向井さんは皆様ご存知のように、代理母や癌で大変苦勞された方でございます。貴重なお話をいただけるだろうと思います。皆様方のご家族、またお知り合いの方、多数ご参加いただければありがたいと思います。よろしくお願いたします。ありがとうございました。

## 卓 話

村田 昌之 会員(原稿:三毛 理一朗 会員)



### ■ロータリー・私の雑学集

私の人生の半数以上の歳月をロータリーという素晴らしい世界を知り得た喜びに感謝しながら、幾多先輩諸賢よりご指導戴き会得したロータリーのマニュアルには書いていない様なロータリーの雑学を思いつくが尽にお話させて貰います。但し、順序として前半は色んな文献等により皆さん百も承知だとの誇りを受けるかもしれませんが、ロータリーに関することで多少の私見と偏見を加えての話で、後半において、その雑学をお聞き頂きたいと思ひます。

### ■四大奉仕部門列記の順序

今回新たにクラブ定款第5条として「四大奉仕部門」規定が設置され、その列記順位が正式に示されると共に各奉仕部門の意義が述べられております。就いてはその列記順の、依って来るべき根拠については皆さん篤とご承知のはずですが、愚考を交えて述べてみようと思ひます。

1905年、折からの大不況の許で、ポール・ハリス以下4名のの人々によって創設されたことは、ロータリアンならば誰もが熟知のとおりですが、真実は最初から奉仕を目的として創設されたものではありません。同じ取引をするならば会員相互の間で行った方が互いに有利であると互助の目的で一業種一人に絞らずに絞ったものですが、そのうちにこの様なことで世間の非難を浴びては、ということでお互い会員の職業倫理観を高めあい、各自の職業を通じて社会へ貢献していこうということで、先ずは職業奉仕部門から始まりました。「ロータリーの奉仕活動の鎗矢」は正に職業奉仕にありです。故にロータリーでは I SERVE の職業奉仕が起点であり且つ本筋です。

更に他の色んな方面への奉仕の輪を拡げようと、次いで社会奉仕部門が生まれました。不況下に奉仕と友愛をモットーとする会合が共鳴を呼び、アメリカ各地に飛び火して行き、次第にその輪を拡げ、やがて国境を越えてカナダへ普及することによって国際奉仕部門の誕生となりました。

従って定款第5条に示されている通り四大奉仕部門の列記の順序は先ず「クラブ奉仕」において、内なるその体質固めに始まります。その上で外部奉仕へ向かって「職業奉仕」次いで「社会奉仕」「国際奉仕」となっています。よって私は I SERVE の職業奉仕がロータリーの根源であると考えており、自己の職業を天職と考え先ず自らを律することに始まって、然る後に各方面への奉仕に向かうべきです。

ロータリーの本質は「奉仕」を糧として切磋琢磨してゆくことによって会員相互の友愛が深まり「奉仕」と「親睦」は相乗しながら、所謂マルチプルな効用を發揮しながら常に躍進していくのです。前進する車両に譬えるならば「奉仕」と「親睦」は併立した前進していく車の両輪と言えます。

### ■時代と共にロータリー 時の流れに沿って

年々ロータリーも変貌というか普遍化されて行きますが、中でも最も顕著に改革されたものは以下6項目の中でも(a)(b)の二つの項目は特筆すべきものです。

- a) 会員資格より性別が排除され、女性ガバナーが世界の各地で出現しています。2007年版手続要覧のP. 18には「すべてのロータリー・クラブは、男性および女性の両方を会員に持つよう奨励されている…」とあります。

- b) 一業種一人のロータリー発足以来の基本原則、且つロータリーの最も真価を發揮していたと愚考していたロータリーの伝統が、5名までと拡大されたこと、更に正会員51名以上のクラブでは会員数の10%より多くならない限りその職業分類の下に正会員を選出することが可能となりました。このことはロータリーの尚一層の普遍化を意味し、その体質の俗化を懸念するのは私独りではない様です。(定款第8条)

- c) 会員資格維持条件の出席率60%以上が50%以上と緩和されました。年度の各半期間において、メイクアップを含むクラブ例会出席が少なくとも50%に達しなければならない。と会員の出席率を明示しています。(定款第12条)

- d) メイクアップ可能期間が例会日前後各7日間で14日間までと延長されました。但し例会時間の少なくとも60%(36分間)に出席していなければ出席したとは認められないことは従前と変わりありません。(定款第9条)

- e) 出席補填可能範囲が色々と拡大され、クラブ理事会で認められた会合等も出席と做されることになりました。(定款第9条)  
昔はガバナーまたはガバナー・ノミニニーが主催する会合のみに限定されていました。

- f) 注意事項として、定款第12条第4節に半期間に所属するクラブ例会総数の30%以上に出席しなければ会員身分が終結するとの規定は従前通り生きておりますから注意ください。

### ■早退者のマナー

或る会合で大阪ロータリークラブのバスターガバナー古田敬三氏が「皆さんどうぞ私どものクラブへも顔を見せてください。但し、早退は絶対にお断りしています。」と宣せられました。早退することをロータリーでは「喰い逃げ」と申します。早退せねばならないと初めから判っておればメイクアップは控えるべきです。非礼の上もありません。

更に自クラブで早退せねばならない節は、前以ってS.A.A.までその旨を申し出で、S.A.A.は外部よりの卓話者の場合は、本人の止むを得ない都合の為、早退するもの××名ありますからと先に諒解を取るようにと私の入会時にはその様に先輩から教育を受けました。内輪の会員卓話の場合は別として、卓話の時間が来るとゾロゾロと退出されることは卓話者への非礼の極みです。前以って諒解を得ておけば卓話者も気を安んられる事でしょう。

### ■S.A.A. SERGENT AT ARM

サージェントとは、陸軍軍曹の階級をいい、会長の片腕という意味で大変重要な役柄です。

その由来は英国議会を模したもので、議長席の横にS.A.A.が陪立しています。その出で立ち、頭には鬘を冠り、長いコートを羽織り、手には身丈よりも長い杖を持って直立しており中世貴族の装いです。

トラブル等で議事の進行が滞ると、その杖で床をトントンと強く打ち鳴らして注意を喚起します。

この様に会長の篤き信任の許に、例会をスムーズに、しかも楽しく時にはジョークをも交えて滞滞なく進行を司る、会長・幹事と共に例会の立役者です。

### ■敬愛なる「ロタキチ」

往年にはロタキチと陰口で揶揄されるロータリアンが幾多お目にかかりました。ロータリー狂という言葉ですが、言われる本人は寧ろ自慢にすらしていたようです。

ロータリーのエキスパートということですが、憎まれ口で言うなればマニアとでも言うのでしょうか。兎に角ロータリーというのは不思議なもので、参加することに楽しみを覚えてくと次第にロータリーにのめり込んで行きます。ロータリーの万端に精通してきます。ロータリーが至上のものとなり、ロータリーの虫となるのです。

往年には斯様な敬愛すべきオールド・ロータリアンが古い伝統あるクラブではよく見掛けられましたが、近年は自称も他称も斯る熱心なロータリアンの存在を耳にすることもありません。ということは時の流れが、或いはロータリーの普遍化のせい、それともロータリーの若返りを意味していることでしょうか。将来は皆さんの中から「ロタキチ」と呼ばれるような、ロータリーを熱愛する素晴らしいロータリアンの輩出を期しながら拙い話を終わります。